

2026 年 8 月 31 日

各 位

株式会社三井住友銀行

小田急不動産株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、小田急不動産株式会社（取締役社長：五十嵐 秀/以下、「小田急不動産」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

小田急不動産は、ミッション（経営理念）として「お客様に感動いただくこと（顧客感動）を第一義に、安心、安全、快適な生活・環境の創造とその価値の向上に全力を尽くし、お客様からの信頼を日々積み重ねていくことを使命とする。」と掲げており、人と夢と価値が共に発展していく豊かな住空間を提供していくとしています。

また、小田急不動産は、気候変動への取り組みを強化し、パリ協定が目指す脱炭素社会の実現に貢献するとともに、投資家をはじめとした幅広いステークホルダーに、小田急不動産の長期ビジョン実現に向けた取り組みを示し、推進していくことを狙いとして、2024年1月に「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定しています。本フレームワークでは、CO2排出量の削減がKPI及びSPTsとして採り入れられています。本ローンでは、本フレームワークに基づくSPTsを定め、達成への動機付けとして、SPTs達成時に金利が連動する貸出条件を設定しています。

尚、本フレームワークは、LMA（Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（LMA2023）、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約日	2026 年 8 月 27 日
契約金額	16 億円
貸付人	三井住友銀行
契約期間	5 年
SPTs	2030 年度までに CO2 排出量（Scope1・2）を 2013 年度比 58.8%削減

（参考）

小田急不動産株式会社ホームページ：

<https://www.odakyu-fudosan.co.jp/>をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部サステナブルソリューション室

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。